り支那全土に敵機の影を見る 関が石が長期抗酸を續ける限

う、敵機の膾を冷させるのもこと能はぬことにたるであら この寒い折柄あまり情けがな

そのちち

國府に誠意なし

東に於る最近の情勢より推し 東に於る最近の情勢より推し 支那方面に重點を置くべきで あるとの見解により駐率外交 物間の縮小を行つたものと見 られ時局補注目されてゐる、 なほ極東通として知られてゐ る駐率イギリス總領事パトラ 一氏も今回サンフランシスコ

皆

v

多

2

內閣

組閣に成功す

外相にはデルボス氏留

な

外務當局聲明發表

學學

「一十八日のA・平南昌電報は 南昌を中心・する支那軍防備 である・平南昌電報は

鑑力好形於のに初い外ず み府意のて希お冬に廟と そに的鑑は望い媚と係の

支一帶を視察し、ついで北上 京磯王海に向ひ、約十日間中 京磯王海に向ひ、約十日間中 京磯王海に向ひ、約十日間中

天津での他を世祭し二

中支、北支視察

模型飛行機配列

野島湖には新鏡部隊が配備シス式の鏡兜を被つてるる大瀬してをり、何れもフランス製の武器を装備しフラカス製の武器を装備しフラ

安和平交渉に關し外務部局は 十九日午前四時左の如き富局 時解決の希望を申出で来っ 作解決の希望を申出で来っ

一年

無湖方面には全く敵機を 日成を與へこ」数日來南

北京、石家莊に

總領事館開設

邦人の北支進出に對應

支那への空輸機は可

E

新春早々漢口を四回

名の首傷兵が收容されてを正るまで蜿蜒と塹壕が續いこれが場別から揚子江岸に

の空襲を恐れる餘り支那軍にたび軍なる空襲を恐れてにたび軍なる空襲を恐れて

としてゐるとしてゐるとしてゐる

敵は分散配置

假裝

回、長沙その他を敷

軍○○航空隊○○司令は「 ぶして敵機を支兆より

最後の一機まで開発した

様である、

は違し、事變勃發前に比し約 に違し、事變勃發前に比し約 一、不に該り、再留民保護での他 下にあり、居留民保護での他 下にあり、居留民保護での他

新政権に参加か 領事王守善氏は館員引場後も 神戸、機器し国診離職の参不 月前新栖の要職につくものと

三日前相崩後して社任の途に フランス領事館では今回館にフランス領事館では今回館にフランス領事館では今回館にオギリス副領事へブレーンフランス副領事ネグレーの雨気は何れも上海に轉任、二、

月上旬歸京

戰況(計前)

時局に抗し兼ねて

を力説

▲野崎正治氏 (同) 同窓東本

積資本

金金横

立本店樣

濱

新京日本橋通三十四、

表へ川ンヨケーニ

王神戶總領事

富陽附近 敵兵學

0)

「杭州十八月後関連」十七日 正午知富陽附近高地に敵兵約 二百が襲撃し来り、寮藤部隊 は寮駿約三時間にして撃退した、乾道栗死畿的三子 間の江岸

强固な防備陣 【京城國通】

田少佐戦傷 八日發樹通」上田門

海軍航空隊

ので初代總領事には疾鳥参事官又は秋山一等書記官立兼任 を命ぜられ、領事その他は大 を命ぜられ、領事その他は大 を命ぜられ、領事その他は大 を最近邦人の強展目覚しく殊 に石家莊には既に約二千五百 の邦人が在留し、各種業務に 従事してゐるので今後時期を に石家在の上、各種業務に

駐奉英、

佛兩國

近十末相 アンリ・クウイコー末相 アンリ・クウイコ

本田第氏(電楽) 同本田第氏(電楽) 同本田第氏(電楽) 同本田第氏(同) 同本田第氏(同) 同本明石三郎氏(商業) 同本明石三郎氏(電楽) 同本原本三郎氏(電楽) 同本原来三文氏(電楽) 同本原来三文氏(電楽) 同本原来三文氏(電楽) 同本原来三文氏(音楽) 同本原来三文氏(音楽) 同本原来三文氏(音楽) 同人原源第ポテル

ルク・

リュカ

領事館を縮小

一兩日中に同地に帰 華實炭礦赤柴炭 確ご改名

等も全幅的支持を惜しまりのため努力されたし、われ民人の疲弊を救む東亜不知民人の疲弊を救む東亜不知

日 とれを占領したわが赤柴部隊 よつて接收された蓮賓炭鍼は これを占領したわが赤柴部隊 になった。

樹てた人でな 樹でなり で事題前は核 がて困難な終 際退したが、 鮮銀青鳥支店 廿日より再開 後方輸送に停功を ・ 協工縣松山中學に お工縣松山中學に 開院向ふ念中、十七日午後六時

度意を理解するや 磯然その態 度意を理解するや 磯然その態 を宣言

所述者長 一等(一級)(十六 日的) 経濟部理事官 加藤 八郎 経濟部理事官 加藤 八郎 経濟部理事官 加藤 八郎 海藤及日本國三國間常設調停委 高高別國委員を解く(二十一 日的)

日より支店を再開 同地に躊還するの 長以下行員全部が

長に北京臨時政府王委員

青公 部券証社會古株融金滿日 九六四六团麓 五七通橋本日

往來

阪中國人二手 るため赤柴炭 へ復歸 21

のため米敷約百萬石の買入れ のため米敷約百萬石の買入れ

滿洲國人事

條の規定により出廻り調節の決議に基く米数統制決第

五色族

國際既行動兼定表中に前記 微し三隻はシンガポール るのでは 逸むの ※報

號八十八百三千五第

警察機關の整備

・第二は日城南軍及び警察官 を受い治安上における日城南軍及び警察官 を受い治安上における日城南軍及び治安上における日城市 を受い治安上における日城市 第三に豫章の所する。 第四は軍後を東へる 第一世 第二は一世 第二は一 第二

本首の組閣校出しの 本首の組閣校出しの 地でるたが、十八 地でるたが、十八 地でるたが、十八 地でるたが、十八 地でるたが、十八 地でるたが、十八 地での支持を確得す

れない

國防軍の重責遂行と

満洲國の

新

ス

9

+

を覗く

H

来これを日満支三國の關係に 関なる一體關係を推進して將

如く努める

(-)

化を完成した治安部は五年後 を迎へ縁よ漢政推進の原動力 たる便命を果さんとしてみる が関内治安維持の總元締たる デ大臣に抱負を叩けば次の顛 治安の維持は當談國家の國 慶を左右するものであり、 あるから治安潜正の徹底を あるから治安潜正の徹底を あるから治安潜正の徹底を あるがら治安潜正の徹底を

開かります。 一は従来の策略協力を一 が不差分子暗脳の事前殺宗 が不差分子暗脳の事前殺宗 が高速に行び、治安工作被宗 を変更に努める。

行政機器の改革により国内治一安工作帰嗣の一元化とその優

米穀約百萬石

買入に決定

開報の第十八回来数統額委員一府は昭和十二年十二月十八日一東京國通」農泳省級表=政 、やがて途方に暮れるのが、東方の情勢に焦慮す **郷面ではシ** 同じく組織だいる敬飛行機の

院室完備

順天医院

長

医学博

東軍根標地酸工式に巡洋艦ト 東軍根標地酸工式に巡洋艦ト 東京和るシンガポールの英國 新嘉坡訪問後 極東に滯留か 米巡洋艦三隻 ▲本本本語 (本本語) 本本 (本本語) 本 (本語) 本 (本本語) 本 (本語)

十七日A・P通信社の報子と日A・P通信社の報道する は明瞭で E 0) ある B

は無任所相としてト

がはない 外はない 外はない 戦布告以上のものたることすでに相手にせぬのである 残骸政府は順落の 交渉などを行ふ途も

他土木建築諸

中街老松町 材 料

六二

京ダイ

名古屋 様の家庭衛生相談所 電話③六九六一番

查狀 管 内地向滿洲各地向も有利迅速に開取扱致します (海外支馬出張所四十一個所、其他主要各地取引先有) 常行旅行信用状による御旅行は最も安全御便利です (海外対馬出張所四十一個所、其他主要各地取引先有) (海外域場等等に特に御便利です)。

業調

送 內債小諸 外付口預 為割金 全 替引金金

業

便利に御相談中上ますの御取次ぎ、内地への組替へも迅速に御取扱致しますの御取次ぎ、内地への組替へも迅速に御取扱致します

壹億參千四百四拾萬圓 壹億圓(全額拂込濟)

小齒科醫問 字專門學

Life. 安之

信也氏(滷映)同大都義一氏(土建業)同

M: 切。

永。京

は十八日午前十時から苦小牧 は十八日午前十時から苦小牧 は十八日午前十時から苦小牧 エデリンクに於て開催、定縛 ボースから意技が開始され、一、一代正勝(満 エデリンクに於て開催、定縛 ボーンニン・一、一、一、一、一、一、八 大場式あつて十時四十分女子 「本来レースから意技が開始された、成績左の通り」 たな下、成績左の通り

着。京大の穴戸、横専の原田 社会は北め西地中等學校武技 大會に離名を馳せた丸龍西菜 の食野教手以下十四名と決定 したこの新人によつて電業野 したこの新人によつて電業野 したこの新人によって電業野

飛行機欠航の爲「人生競馬」未着

告

に付誠に恐縮乍ら「美しき鷹」ど

海湖山

○ 端州 一 贴 北

| 優良スポーツマンをと山積み 採用に審議中の議器電梁では 関盟有ばな銃後背年新祉員の

電業新入社の

變更上映仕候

(入場料七十錢)

高法院:初公判 職後第二年次の初公判は表 類京減法院に於ける治外性確

部後接の第三回土本購習部後接の第三回土本購習

構の一部所として満洲事情の事情案内所は満洲弘昭総會接

的数量である、E

の如く自系露人がスジガリの一月十九日はキリストの洗禮

生島 生島 (三日、丁元) 一年島 (三日、丁元) (東京) 土水月後日際(第二席)一記 (東京)

骨組の上に木

治禮祭郷路會

で、現在の原型は、満洲國の銅像と

對北海道戰で

日本新記錄

獨新事情案內所

二日午後十二時二十分から支員に徹底普及させるため二十

件の判決は十七日同法院に於って 会千百三個九十一級を積領及 時計その他を窃取し昨年十二 号十日中央通署に逮捕された もので積領窃盗事件が本年度。

| 本学年 | 本学年 | 本学年 | 本学年 | 本学年 | 本年最初の忠霊塔 | 大の美學

内地で普及宣傳

市内日本橋通三八、大信洋行内野田徹峰(二〇)で野田は

ひ渡しあり 直ちに服罪した 別官より徒刑 一年二ヶ月の言

大會を催し汽車貨制引團體をの日曜に土們儀に於てスキー

選進することになった 選進することになった

大倉順序並に募集要項左の通ったが早くも申込者相つぎ盛舎が後想されてゐる

全滿中等學校長

募集人員 五十名 (但し辨當

○周新方策を討議する金繭中 希望があり午前の倉議を終つ 「一日」 機構確立後の金繭邦人教育 方法、並に經濟等に就き種々 更に教務部、親壓官等より新 更に教務部、親壓官等より新

西公園正門に建つ

國婦の忠靈

経智を開始することに 指導者となり分

新にすべく準備を進めてゐる 等を上映非常時國民の覺悟を 地長の講演、蔣鎖自慢のク鐵 地長の講演、蔣鎖自慢の夕鐵 地長の講演、蔣鎖自慢の夕鐵 地長の講演、蔣鎖自慢の夕鐵

れは自警團長

明暗二道の器用な使分け

最高級的盜犯逮捕後日譚

愛國運動徹底

愛國行進曲講習、映畵講演會

時局下の決意強化

興亞:新民主義運動 々しき發足

望を荷ひ新 ・一萬民衆の思 先づ善隣滿州國へ代表派遣 協和會に連繋を保 藤島元署長等に

次行賞賜金 名に對する所別事選第二次行 賞賜金は十七日公債額面四千 六百五十圓、現金八百三十七 倫餘を送金して來たが、これ が賜金様それぐ、十九日交付 滿洲事變第二

| 大田氏は傷痍軍人とし ホテルを臨檢中二號室に宿泊 | 大田野人を関見戦前追及の での長事部伏見少佐の指揮によっ | 大田野歌所主任吉田勉氏夫人の | 十八日午後九時頃中央通署隈 | 密の一鮮人を授見戦前追及の での長事部伏見少佐の指揮によっ | 十八日午後九時頃中央通署隈 | 密の一鮮人を授見戦前追及の での兵事部伏見少佐の指揮によっ | 十八日午後九時頃中央通署隈 | 密の一鮮人を授見戦前追及の での兵事部伏見少佐の指揮によっ | 十八日午後九時頃中央通署隈 | 密の一鮮人を授見戦前追及の での | 本書があって錦上東市 | 本書を職つて災の本がある百名の | 本書がある。 | 本書がる。 | 本書がる。

日目賑ふ

お兄さん

今年も舊正

を送って下 太郎で小包 つもの甘栗 月迄にはい

てなければ 3 ョ太郎

駄目ョ 郷里の妹より

郎氏副組合長には満都工業所

會紅滿洲白洋舍支配人野崎一

の基本美雄氏が就任した

奉天高等法院失火

一芸園

防空献金 五十一萬圓餘 十九日朝四時頃率天高等法院大・屋根織さの四棟を全端同大・屋根織さの四棟を全端同大・屋根織さの四棟を全端同大・屋根織さの四棟を全端同

工們領スキー場好調

外る日曜愈よスキー

大會開

催

七時から大興ビル食堂で開催ーー回側會は十九日(水)午後

大阪商船新京

す(二十日)

北村西望氏が畢生の快作

矢澤中學校長 江川少將設宴 廿日夕歸任

特典、 解版中や崇春は特別生による。 ・ 日本語の川本る高級中郷本業者による。 ・ 生 徒 夢 集 日本・東京・ ・ 東 日本・東京・

日本女子歯科轉臂

所長今井正男氏は十九日挨

▲ 章子願名士揮毫譽即賣展、 三中非 主なる放送

會 なびき満洲國の天地を永久に 石膏とするが、鑄造に五ヶ月 大尺横一丈六尺で馬の節の直 人を三分にして送るのでそれ 選一尺餘周圍三尺五寸、身長 に一ヶ月、かくて九月早々除 徑一尺餘周圍三尺五寸、身長 に一ヶ月、かくて九月早々除 でして頭上敷寸を除てと言ふ の旨この程祉員會に入報がある。大作である。満洲國の銅像と つた

設間場所 女給仕數名 滿人ボーイ數名、

御希望の方は 松来洋行豊篤(2)二九三八番 大學 十層六聲一 大道媛房完備 [富士町一丁目一番地 年洋服店 十八歲位

新京灣城會院身體檢查書を添入左記《由込せら九度新京灣城會院身體檢查書を添入左記《由込せら九度新京灣城會院身體檢查書を添入左記《由込せら九度新京灣城會院身體檢查書を添入左記《由込せら九度 月給六十五圓 服裝支給

期待の赤線 不味美味? 版 五 五 東 目 目

シウマイと

大經路入口角電2

支

洗洪

端人食養罪日には愛子夫人と 時年末同會は感謝の意を表し で金一封として五韻をおくつ で金一封として五韻をおくつ 五圓別へて金十圓を新章支部 樹間したとを私する譯にはゆかないと の識家族とを私する譯にはゆかないと の識家族とを私する譯にはゆかないと の識家族 かた會員に此の旨を知られいけないと受取ると共のして扮角の芳志を無い

版名。並に希望事項の開陳が あつて此の教務部創設最初の 正要會議が終了した

といなつて居るが新京白系露 人事務局では十九日午後九時 はり同事務局に於て舞踏官を

新京洗染同業

組合結成

た什後は係官と校長との質疑

水で分間を読めお祈りするこ

特望の降雪

腕品を資本に

満洲國童子團聯盟皇軍尉門 並に基金募集名士揮毫書即資 並に基金募集名士揮毫書即資 北たが午後六時の閉館時間ま での入場者一千名を突破し賣 での入場者一千名を突破し賣 を整束場を搬迎すると

名士揮毫展

昨年下半期

東に教務部、親國官等より新 館會議室に於て開催され、新 機構成立後に於ける各中等學 校の狀況に就き保官と學校長 との間に意見の交換があり、 は前日に引鞭き

文話會例會

の移轉披露を行ふ の移轉披露を行ふ の移轉披露を行ふ

ひのもご幼稚園 天理教滿洲傳道廳

月賦販賣に應ず 直輸入販賣修理

2113 23

一式

玉

突台

あり度し 事務員募集

度の者希望者は履歴書持多本人來談年齢廿歳位迄にて高等女學校卒業程

三井物產庶務係

事 三勝堂玉台店 新京朝日通り(領事館四)

N作品「空中劇場

同劇團。第三部

鮮語劇團結成

來月記念公演開催

□風流元元大名 △ 松析京都作品、 「本学」といい、 「本学」といい、 「大名」 「本学」といい、 「大名」 「本学」といい、 「大名」 「本学」といい、 「大名」 「大名 「大名 「大名」 「大名 「大名 「大名 「大名 「大名 「大名 「

(三)



に進むべし

新京地社南梯

「東洋平和の

道」 撮影 進む 東和帝事が第二回輸出品とし 東和帝事が第二回輸出品とし 大の主役達と撮影隊が維大な 北支の山野を背景に撮影を續 は五百名のエキストラを使用 して完了し、次いで敗選兵が 世成化し掠奪するのを皇軍務 上で完了し、次いで敗選兵が

東蛮

帝キネ十九日封 の馬が勝敗を争ふこといたの馬が勝敗を争ふこといたの馬が勝敗を争ふこといたの馬がより、大川平八川尉子、丸山定夫、生力経川尉子、丸山定夫、生力経、小島洋々、大川平八川尉子、大川平八川尉子、大川平八川尉子、大川平八川朝子、大川平八川朝子、大川平八川朝子、大川平八川朝子、大川平八川東子等出演。 皇軍部隊も應接

・ 闘木代育 電ルワタクへス超 を介しています。 ・トレーと共演する ・トレーを共演する ・トレーシ・ラフトのパラマーには主演と決定した には、主演と決定した ・トレーシイが借りら y DAT ●一白の人。 虚榮を去り不備の監を結びつく進んで害し ・工黒の人。 離合變化の多き ・工黒の人。 離合變化の多き ・工製の人。 離合變化の多き

虚榮を去り不得

のこと 選定は中し込み順に依らぬと

四一目丁三町土富

番四七三六 (三) 話體







即更并深·揮指樂音·夫武橋土·音錄·平公山杉·影攝 東乏南寺結志淺新坪風永高山坂小柳林小坂中野小大上楼月東麓阪山藤坂高林 子劳明貢郞郎郎郎哲六郎助人助郎子夫二武松一繁二人辅助子二助鈴夫郎吉郎

呈進御に様名十四着先 H 劇 1 (日 每

間

切强

和京祝町三の三(開花前)

败器目 輕兒 科科 Щ 新京越國路四一〇(白山公湖南側) 病

院

想在 進型 品 餘 應配 設電 計盤 見分 積電 盤、 谷 三菱電機製品元报店 合資會 社協 隆洋行 **新京吉野町一丁日** 電3 6760

見學謝絕申合せ

御宴會は特 應じます に御相談 12

お好み料理 本場ふぐ 二圓五十錢 りさしみ付 割烹 あ 物 3

4

小井 鉢 B の及

切封日廿々堂 暗黒の空 料金階下 八 上 に起る空中戦!! 風生急を告ける歐洲アルプスの高峰を挟む現伊城境を環境無虚に疾動する 一時開映 ル・ディー 皇軍戦捷 儿 主演

番組 E

!! 篇了モーコ (描を俗風祿元·作特超春新都京竹松

上松村 健晴双爱一下 演子男郎也助戲說夫一造誠夫哲郎助耶禄六

坂東好太郎三役主演 坂東橘之助特別出演北見禮子助演 忘原 作「及傷未遂」

海外經濟電報

んてせうか、皆はこち

風流荒大名 祖國護る者

人阪夏の陣

近日

封切

たら、こんざの事業へ御紹介したら、こんざの事業へ御紹介

宣传

たおが用先要人も、極力独立ない。本家は、福州國政府でも、

やうな不真面目な資

2.41 5.51

12.0 S.07 G.14 9.26 10.34

らの方を四五日中にまごめまたいご思つてをるものですが

9.0:

先要人も、極力排撃を満洲國政府でも、ま

資本家個々に直接し かりまめる 高に公表

質見には、私も、微

電なるほご……』 これは、お客い御用ですが ますご……おゝ。さうだ。お なたも御承知かご思ひますが 大陽西電力の様田計長……』 大陽西電力の様田計長……』 大陽西電力の様田計長……』 大陽西電力の様田計長……』 大陽西電力の様田計長。 ではつごしたのは、調荷だ

初姿お神樂华次

朝鮮郵青島の航

木丹

川、鎮南浦、安東、大連、 電島への直通航路を開設す では事業以来休止してゐた では事業以来休止してゐた

天津から北京 諸機關

は学々たるものありと は今後に於ける服引土の諸 に依つて次第に排除せ に依つて次第に排除せ に依つて次第に排除せ として其實力を勝奪っ として其質力を持ちない。

上葉上族

樂領際

二節

连作

靑:

春光

2

宿

じて、御内意を伺つ うな笑ひをうかべない書類を、さもあり 御海走廊ひたいものお仲間にいれて頂け

峰田孔からも開い「の依頼を受けて来たものです」
が、非公式ながら繊洲國政府が、非公式ながら繊洲國政府 ての商談さか、何んごかい

私に下さるものでしたら、 對に御節思いたじます。 の寸志でございますから…… ほんの いや、折角の御屋志です 絶続が

枚の小切手を発 なるほど

園の出資を承諾し……いれる話は進んで、陽見は、下 子鳥前篇 8.05 3.47 6.94 後篇 料金 四十錢

花 嫁 11 馬 勢獨公

吉野屋樂器店 琴三味線

空

て、繊洲國政府業大阪所変なる門紙に書か

かけからの詐欺にひつかけ

新京キネラ 大金剛山の譜 近日封切 無法者銀平 岡千 「豊樂」

因響溫禮歌 12-00 2-34 5-19 8-04 3.57 6.42 9.27

空美事

0

劇き

12.00 2.45 5.30 煮 まごころ男敵 2.65 4 50 7.55

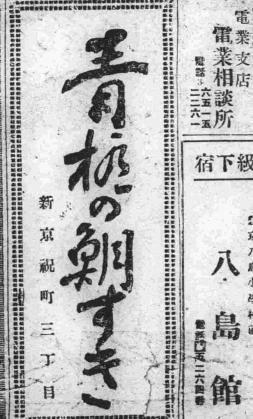
場鷹ス

道士道朗かなりし頃 2435 5.25 結婚 12.00 2:50 5.40 豐楽劇場 | 本チェーン

所主 新京日本統領事籍前 田園 辨理士 案內間 星 桑野四郎 有川藤吉



婦 婦 人 科 科 入院隨 查整派进 (分频室、手術室、病室完備) 17 產 Ш 聚 新京落茶町一ノー五 電話三・三一人〇 原







特産物輸出より

は北京十八日愛園通)中華民 移動準備を開始し、また從来 大倉社 横は全く安定し、北支經濟建 大倉、滿蒙毛織等はそれか に伴ひ日本側の各種産業開設 が進出し、更生支那の首都と これが、此情勢 らはすでに日鑞の北支事務所 由まり北京に移轉することに決 京はさらに北支經濟建設の中 北より北京に移轉することに決 京はさらに北支経済建設の中 北より北京に移轉することに決 京はさらに北支経済建設の中 北より北京に移轉することに決 京はさらに北支経済建設の中 北東中公司、惠通航空公司本社 れてめる 現中公司、惠通航空公司本社 れてめる

滿鐵日滿商事株

▲東京株式(短期)

各地株式市况

101)

信用が増したことはいる

デ 7

田が選ばれて居る線が、これでは、関係運輸をしたのである。高め、

特産中央會理 事會開催 事會開催 本の廿二日(土曜日)午前十 本の廿二日(土曜日)午前十 本の廿二日(土曜日)午前十 本の廿二日(土曜日)午前十 本の廿二日(土曜日)午前十

一、獨逸所命品監理官及び油房聯合會代表ならびに關係。 学者等來滿の件 一、新麻袋輸入組合その後の 一、新麻袋輸入組合その後の

がた。 素付いたロ調

~それは、

ては何ですが、もも、私に転 ません……その代り、ご申し

栗紅 がふ

関土を、今

があくさころか があくさころか があくさころか があくさころか 恐らしてはなら この馬販よりの して、まるめて かに拝見いたし

受機がす 煙草銭だ。一千圓一

受機がすむさ、胸息は大きでしての一部、十萬個を小師手 百萬圓出資させてもちふこさ てございますがお煙草銭に… 『それから、これは誰だ極少

新京主李

制御の



(日 曜 木)

強の已むなきに至るだらうと 和平準備のためと解し、蔣介 和本集務の敗職に結局下野外 を関し、蔣介 を関しが人筋では今なほ 政

脚の観測が行はれてゐるため、 所介石側近の某外人類間は十 八日外人筋に左の際明を競表 し、風評一掃に努めてゐる

香港に滞在するだらう 焦土坑職あるのみとしてゐ ま土坑職あるのみとしてゐ は土坑職あるのみとしてゐ

残留支那大使館員は

帝國の時

支の國安調整に努力して以來應關の身に鞭うつて

福度の不服症と神経衰弱にして

長北支

向分離に不は

省に出頭自液陳情書とひ上つた全國の業者よい▼ダンスホールは

て諒解を求めたマダ

國通社會部

の為好計を破られた腹壁と へといふやつ▼昔から吹へ へといふやつ▼昔から吹へ

中立法發動せず

米國政府筋の意向

収扱方針決定

とす

発蕾等につき三浦教務部長、東局會議室で再開、教育方法東局會議室で再開、教育方法

豊と云はれてゐるが▼すべて 関の海軍も参加し大婆娑なデ モシストレーションを行ふ計 モシストレーションを行ふ計

應答あつて午後四時閉會し學官と各學校長との間に質

豊と云はれてる

長會議終る

将側近の外

顧問言明

【北京十九日發國通】翼東自

【東京園通】長期観時陰側に處すなつた

午前九時より首相官邸において開會されることとる近衞内閣の決意を地方に徹底せしめるべく緊急

要力擴大を企らんだが正義日かし英國にはその邪惡計費悉く かし英國にして見れば諦め切れず英米提携はこの極東の形であり切れば諦め切りであります。 から 英國 にして見れば諦め切り は 大き できる は できる は できる と できる と

近く唐山で変東政府接攻が

て式

力長官

會議

出は深い昭和二年山東出兵以來の

思

電力國家 電力國家 無點會劈頭提出 無點

如兵北六千共し並支

大子、既に歸順したもの一なほ大名南部地區の敗残兵匪 共産匪約4千、敗残匪約七 中、討伐縣と変載したもの り北地區には僅かに三百名 切し が立て共産匪の現在紙況左の り北地區には僅かに三百名 のみとなつた のみとなつた のみとなった

ボ漢謀、共産系の

はないかと外人側では觀測します。 はないかと外人側では觀測します。 である。

で 込んだ長城戦の勇將○○部隊 長は十九日午前十時軍艦○○ 談を選げたるのち司令部幕係 を選げたるのち司令部幕係 を帰向して忠魂碑、青島神社 た青島の全景を望見、記者を おった でいます に かい 自雲に 敬はれ

蔣の迷夢、なほ抗日を豪語

北支方面支那敗殘兵の

込相次

は全部歸順した

第

回防

空

連絡會議

度につき左の如く言明したが、コータングの関を関係、ショータン内閣に對した動とのブルーム業的の色が漫かったが、大定した。一方共産業、社會業、社會業の一方共産業、社會業の一方共産業が、社会、主要を関係がある。 を開催対策を協議したが、コータンの関に対した。一方共産業が、社会主要を関係がある。 を開催対策を協議したが、コータンの関係に対した。一方共産業職会連社会進社会業のみの関に関いたが、一方共産業職員を表述したが、コータンの関係に対したが、コータンの関係に対したが、コータンの対しに対した。

内相官邸で開催

騰は十八日午前七時半和縣を 午後和縣を占領した岩永戦車 「磯縣十九日發國通」十七日

は は は は は は は は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は は な た は 、 る に は は た が 、 右 に は は た が 、 右 に も は た が 、 右 に も は た が 、 右 に は た が 、 右 に は た が 、 右 に は た が 、 右 に は た が 、 る こ と に み 、 ま を は た が 、 る こ と に み 、 ま 、 を は た が 、 る に と に み 、 ま 、 を の に 、 ま の に る に 。 に る に 。 に 。 に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。

佛社會黨付

共產黨熊废留保

閣支持

八日發國通

社會黨

も異議なくこれを承認、同評無に説明をなし、各閣僚國家管理關係四法案の內容

近衛首相談

袋の

赤色勢力南進の據點確保に狂奔してゐるといはれる境地帶に無住地域を設定しつゝあること判明した、尙ソチカ陣地構築用の建設材料輸送を開始する一方國內防衛

尚ソ ヴイエト赤軍は昨年末 | 全軍部隊多數を外蒙古に移駐せしめ外蒙空軍の訓練に當らし、防衛施設の機報漏洩を防止するため國境地帶に居住する蒙古人の奥地强匍移住を行ひ、

和

地帶

0

外蒙古南部國境の防備强化のため過般來國境

牒 報 漏 洩

【上海十九日奏図通】 図民政 情點發展明に伴ふ川越大使引 情點發展明に伴ふ川越大使引 計算官、十九日午前大使の 手許に到着、よつて川越大使 は數日中に日華連絡船で上海 は数日中に日華連絡船で上海

の大使は十九日總領事館 の如く語つた 日本省がらの電報に接し を設置するといはれて を設置するといはれて をのものでは列揚げるつ では列論 が存れましては列論 では列論 では列論 では列論

越

大使引揚前

に語る

【頁二十刊夕朝紙本】

が、でをし、す 臨時政府は翼東地區の接 **牧牧準備を進めてゐる** すでに葡々障時政府と して北は

としています。 電々長高凌 氏を唐山に派 電々長高凌 氏を唐山に派 の現績を讃へ特に河 の場合を讃へ特に河

は

眞

が 動例として今後同政府に合法 し來る各地方政権はこれを取 し來る各地方政権はこれを取 厚流を

防空連絡に一般を遂げ、

りとも侵入させぬやち富全を に関する連絡統一について協 に関する連絡統一について協 の完全なる ののでは、 の外地の完全なる ののでは、 の

R

ツ聯猶豫方 を要請

被免關東局事務官) 對滿事務局辭令 中村儀十郎

對滿事務局辭令

オ在勤を命ず

「東京國通」陸軍和兵堡校長 ・ 東京國通」陸軍和兵堡校長 ・ 東京國通」陸軍和兵堡校長 弘岡中將豫備へ

往來

の病

了。神秘熊斯健和五聖閣

中間の町でカロナー 新京吉野町二十回(東町

(-)

名を乗せて十八日神戸出州、 「南島十九日砂関通」内地名 地に避難中の居留民の青島へ 地に避難中の居留民の青島へ

漢謀と共産系の軋轢は漸次深あるが、廣東省内における余をが、廣東省内における余変に、

四日何れ、約同数の居留民を 西島に輸送するが、長期海上 動育名の居留民が一般二百ポンド入 を変に品切れ、その追を絶たれ、 変が全部凍結して表の遺を絶たれ、 を変に品切れ、その他難品別を出現して で來ても隅から隅まで徹底的出現して で來でもて、大園の上海米が四十 大園に、石炭一順二十間が出 といひ一般物價、等働質級にれ、 を変に品切れ、その他難品別 に夢されてゐるので歸来者は を変に表するが、長期海上 を変に表するが、長期海上 を変に表するが、長期海上 を変に表するが、長期海上 を変に表するが、長期海上 を変に表するが、長期海上 を変に表するが、長期海上 を変に表するので音点 を変に表するが、長期海上 を変に表するので手 を変に表するので手 を変に表するので手 を変に表するので手 を変に表するので手 を変に表するので手 を変に表する。

楊多事官談

(東京関通) 職敗の観閲に傷 や深く廿日日本を去ることに 決定した許世革駐日支那大使 は、いて楊参事官以下館員を集め 使の引揚げを整へて大小の荷 をの対接げを整へて大小の荷 をの対接げを整へて大小の荷 をあっ行くものと寂しさをこ あて一入の難香を呈してある 楊参事官は正午應接間に記者 国を招じ許大使の代理として と今後の大使館図するまでの経過 と今後の大使館の創度につい

八屋筋も米目の 日しでの園友の のではあの例シ

では目下何等この開題に開帰し をは事實だが、米政府 のあるは事實だが、米政府 のあるは事實だが、米政府

能み中立法の強動にどう

との質問が出たが、大統領は

を拂つてゐるのは日本 室賊布督剛題だが、右 ない限り蓋當り中立浩 ない限り蓋當り中立浩 動の支意

満州製通信社太田社會部長は 適日山西省の散線において不 を地残兵の投擲した手榴弾に のため十九日午後四時五十分 のため十九日午後四時五十分 で山海臓器由北支に向 でした。 列氏は一大ない。本文は一本文は一大ない。

滿鐵有賀氏來京 日午後六時二十分の日午後六時二十分の一筆庶務課長有貨庫吉

會議開會中は日五十ルーブルー、但し

モロトフ氏

トフ氏

南京政府狼狽

反駁聲明を發し

(二)

埋藏量十

十億卜

拠脈 發見さる

撫順東方約五キロの

皮蔵費は空三十萬ループ ・る 四、辮邦、民族神 ・ 一、一般道バスを

一爾後南京政府を相手とせず、 力いな学句があつた。これに ついて十八日、書記官長談に 相手とせずといふ言葉は南京 政府を否認するといふよりも はち既に帝國政府は南京政府を相手としてからこれが絶滅の型職 をもつて支報國家、國民を代 をもつて支報國家、國民を代 をもつて支報國家、國民を代 をもつて支報國家、國民を代 をもつて支報國家、國民を代 をもつて表ものであることが明 りも強いものであることが明 の成立を期待しこれを変渉を 調告してゆくといふことを 語のるる。

阿片

禁煙促進委員會設置さる

看護術の實習

の國防婦

率天珠式

式

相

0 爲

明神により、 神に北京と改稱して以来 を開けるものあるも を開けるものあるも の如く告示した

円び北平と稱するを得 八日附布告を發し今後 一九日發國通」 臨時政

府布告

8

徹底臨

本の 地方に関する具體的方策計畫を 一、地方にないては各省、市 本の 地方に禁煙促進委員會を設置 で 他方を修正し政策遂行の有效 一、地方には、「一、地方には、「一、地方に、「一、大人」 一、関係各部及び任務は左の通りである。 一、関係各部及び協和會職員。 一、大人工。 一、大工。 一、

別を奉告 國各神社

帝國の默殺聲明に

(東京國通) 支那! 和を天地神祇に新念するため を関十二萬の官國幣社、府縣 を関十二萬の官國幣社、府縣 解別を奉告全國各神社

河北省公署

郑京取引市况









に全陣容を 大谷智子裏方 現地慰問

ある 様に乗り

問々志し本年来から廿日間の た谷智子裏方は、今回現地尉 陸海軍病院に自衣の勇士慰問

陶额張工沈孫

のだど生の私籍をつせて方法を すってとなる。 で今でである。 で今でである。 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でので、 でいて、 でいて 來。忽ち五十八 四ま~

行所

二七

著

な

外交と力の運用 首相デルボス暗殺事變當時の 財長でも、近くばりビア がにイタリーの武力未試を成 功せしめ得ると見極めた上で 鳴物入りでこれを實行したの である、職つてしまつては凡 である、職つてしまつては凡 である、職つてしまっては凡 である、職のコーテリチーが百 だ、軍備のコーテリチーが百

電③三二〇〇番

ようこくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと

(日曜木)

歐州を現場に於る教訓

がイタリート著しく親壽闘係 かがイタリート著しく親壽闘係 カの活用に負ぶ處が多い、アカの活用に負ぶ處が多い、アカの活用に負ぶ處が多い、アラヴィアー常備軍廿三萬と新したとはイタリーの重きを加 しことはイタリーの重きを加 たる所以であり三年前までは、 をから一轉して協商に變じ、 で見える、これは息をしたやら で見える、これは息をしたやら に見える、これは息をしたやら に見える。

ものである と来つた場合にはピトリッと兵を退いて外交 に入る決心であったこ であったこ

次中、六七六、大 高 (共和) 三 五二 三車 **慶告の御用命は**

時計を生かけは技術の力

何回修繕しても

御滿足でない。一時かは

一度當店に御相談下さい





各風門各入校優各 染呂 傳營 勝國 ン幟旗旗旗旗 時節柄進物用御染物は E 相談に應 營

C

3

話(3)三九四九

旗

本店 新京美原

入街出張所

为

所 支店出 。

地 所

職業大率天市の玄陽奉天韓の 重融十二月中に於ける実際名 は約四十一萬三千人、接貨物 大高七千人接貨物重約十八萬 大高七千人接貨物重約十八萬 大高七千人接貨物重約十八萬 したがこれは融局の一段落に したがこれは融局の一段落に

一問一次合 「安此の指輪昨日、〇〇〇 で買つたのよ、いゝでせう」の で買つたのよ、いゝでせう」の で買つたのよ、いゝでせう」の 「あんた、限がないのネ、「あんた、限がないのまだから 「滅手好きな君の事だから」 「減手好きな君の事だから」 「減手好きな君の事だから」 する奴を指に戦めて、得意圏 にする奴を指に戦めて、得意圏

具も、こんな時勢には、太い に速度するものさ」 に速度するものさ」 たはどう!」足繁く、こんな

世間は段々、そんな事を済ま たら、それでもいゝさ。併し なら、それでもいゝさ。併し

そう云はれると面目ないさ。 そう云はれると面目ないさ。 それ位むはよく分つてゐるよ だが、滿洲で働いて、おまけ に獨り者だ、時たま銀氣を養 に獨り者だ、時たま銀氣を養 いて、かまけ いて、おまけ が、大日に見たげるね」

极貨物奉天驛乘降客

省本部委員は次の如くである工作を進めることになつた、工作を進めることになった、

対し在吉林中島人は十八日同 発會の名をもつて関係各方面 に左の如き感謝電を強すると に左の如き感謝電を強すると

第二次入試

志願兵制實施に

吉林半島人感謝電

一、治殿對處工作としての分 會組織、整備と選用の完皇 に集約すること に集約すること に集約すること に集約すること 「會運動の原動力として青 年関を外靡團盤として運用 すること

大日から國建に引起を開始す 市街方面の水道料金は城内同 時に從來集金に廻つてぬた新 時に從來集金に廻つてぬた新 たの七ケ所で料金の受付を開

協和會問島省本部では十七日本年における第一委員由席、過報の幹事會を開 を見ります。 本年における第一委員會を開 では、 別正副本部長以下各

本部の協和會問島省

郵政儲金遂に

一千萬圓を突破

今年中には五千萬圓に達せん

二月上旬愈よ渡支 の書を携

東大が、往年満家の山野を随い、 東大が、往年満家の山野を随い、 東一花大人來る」の一言に馬 脱をし、あがらせた翁の熟血 は今回の事變に再び岩々しく でで、反省なき支那をこの一言に馬 関に在る同志支那人の手を調 の書」をかきあげ、これを支 のの者の熟情に感激、激劇を異へたといふが、この書は支那人の手を通 文に書き改めた上京して へたといふが、この書は支那人の手を通 文に書き改めた上京して の者の熟情に感激、激劇を異 なたといふが、この書は支那人 の書して を加重な問者も一野人として なたといふが、この書は支那人 の書にある、 などで表して などで変形のの音を として などで表して などの音を として などの音を として などの音を として などの音を として などの音を として などの音を にある。 などで、 货物到第三一十八八九〇五人 院市人員 二十九八九〇五人 院市人員 二一四、六四〇人 院市人員 二一四、六四〇人 同昨年 一五四、八一七連 行物到第三一三、四九〇連 10四八十七三連

本放送協會に照會、發賣方公を研究中である

總局辭

北支事務局勤務を命ず、二月北支事務局勤務を命ず、二月

御家庭に

雪 二〇錢 附出

御贈答用に

新京檢事區檢事助役 新京檢事區檢事助役

助役

全市民擧げての戸外過間は底 中に依り開始せられるが、そ の内未定であつた資探しは二 十八日午後一時より西公園で 間催されることとなり二十九 日午後二時からは協和會館に 於て映畵會を開催しスポーツ 於で映畵會を開催しスポーツ たて映書のを開催しスポーツ になったが端女子が擧

軍用犬を獻納 十七日哈市特務機關を訪れた哈鐵産業課動務小原省五郎氏は憂産業課動務小原省五郎氏は憂

明るい話で

黑人會計

子供新聞の テキス

| 「優得した優秀犬である | 軍用犬共進會に於て第一席を | では、同軍用犬はまで、 | では、 | では、 | では、 | では、 | では、 | では、 | でも、 | できる。 | でも、 |

新市街の水道料

集金制を廢し六ヶ所に納入

製 本試験は百名の募集に對して もので此の離闘を突破第二次 もので此の離闘を突破第二次 コード寄贈 コード寄贈 サース コード寄贈 単、商業兩校生徒は左の如く 本試験は百名の募集に對して の 本試験は百名の募集に對して の 本試験は百名の募集に對して 小田 正治

長を命ず 吉村一思之 電樹

を命ずを決部 心得を命ず 英党

係長心得を命

な命ず 寛 命子 九郎

んだネ。 國防婦人會員になつ て、兵職さんの歌送をするの は、勿論結構だが、只それ丈 では駄目だネ、形よりも心が

守田

事 大里甚三郎 高ず 三宅 ひ太郎 與動 ルデ 敬失 八日附を以て





室入事課人事係へ提出すれば ※査書滿鐵檢診閣の檢査書を ※本書滿鐵檢診閣の檢査書を ※本書滿鐵檢診閣の檢査書を が、三月五日までは滿級總裁 の、一月五日までは滿級總裁

間一段作詩「赤古字」のコロム が、放送局でもまが、放送局でもまず、放送局でもます。





木村ミルクホールの 兵隊さん鳳凰十錢 丼類・洋食・ぜいざい 鳥すきや 場增設 宗二〇錢三品 ん、そ 凰 一五錢 付き





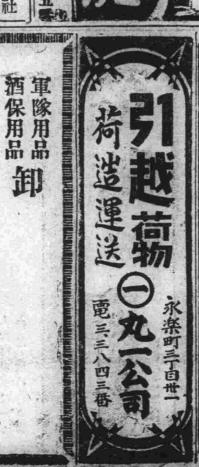


在庫豐富











辯護士

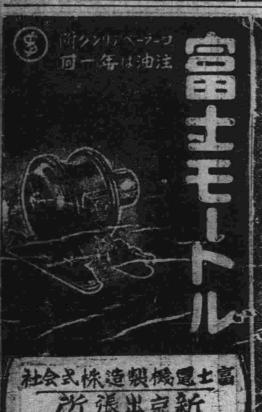
役

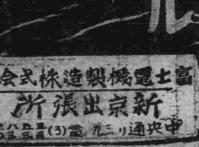
增

電朝 話日 ③通

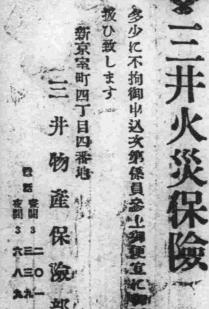
世帶道具の御用なら 信用ある當店で

東京菓子店游京蓬萊町一人一九 等の仕入なら何品できて、(吉林白小丸)大 揃ふ當店にて









(日曜木)

時まで「綴くか、これは全國 民の最大關心事である、然し 南京が路落しても支那政府が その非子良省せざっ限り、た とび長期に亘るとも階窓の矛 を初めずといふのがまた全國

日支が、戦の

時局沿何

氏の學悟でなければならぬ、

巧妙さが、関力宣傳の世 子芸



日那 候禁酒法 御主人が新年というにまた酒 酒好きの お台 所 お酒た に

お ならぬ支出となるものですか の 酒が癖になつて 量が進んだ の とに 酒の消費は却々 馬鹿に こんしょ でんか、 一家の経済

告

御覧になったら如何でせるか

ケ

の金

州で ミンC

が不良とな

生れた子供は競背

食物中ピイタミンせを含ん

の補給は充分

な野菜と果物で、キャベッ

イタミンひ

個しこれは御電人には絶對級、 ・ です。そして二、三日目 ・ にはそれを二滴にし、又三、 四日の後には三滴にすると言ったやうに極めて気流にし、又三、

はいつかしら四の盃を挙げると動に味噌汁臭い気がして如 はぼ成功しないもので 一 坂略以上に忍耐張く勉

信はれたが、

、共第一は入學試験の進二、三の事項を述べて日 のる、青少年の體位向上で戦起して欲しいと思い その結果死画、数 洗濯を起すこればかりでな でればかりでな でればかりでな

事例に徴して明 いことは過去の政態の命だけで

的なものでは大都會の居然

はない、は不健康の代表的なものであった。 である、ことも決しているとさへ調はれてある。 である、か見童の健康の代表的なものであった。 である、のに亡びるとさへ調はれてあるがな会議の である、のに亡びるとさへ調はれてあるがな会議の である、が、見童の健康のために如何なるのである。 に一回は郊外運動に親しかく である、一回は郊外運動に親しかく である、一の思想が、見童の健康のために如何なるのである。 に一回は郊外運動に親しかく である、一の思想が、見童の健康のために如何なるのである。 に一回は郊外運動に親しかく である。ことが必ずしも容易ならぎる である、一の思想が、見童の健康のために如何なるのである。 である、この精神身體的緊張とはいと易いと部にれてみるがなる。 に一回は郊外運動に親しかく なり にしてのない、香味は食品の でないた水分と香氣とだけに ならなければならない、そう がつまる、郊外に田で全名の はり である。この精神身體的緊張とはいと易いと部にれてみる。 である、この精神身體的緊張とはいと易いと部にれてみる。 である、この特神身體的緊張とはいと易いと部にれてみる。 である、この特神身體的緊張とはいと易いと部にれてみる。 である、この特神身體的緊張とはいと易いと部にれてみる。 である、この特神身體的緊張とはいと易いと部にれてみる。 である、この特別を書きる。 が、見童の健康のために三夜の完全腫 にはそれが常に修奏であり がでよい、そう ならなければならない、そう な際であるといふ考へがなく つれて、これが見童の睡眠の貴童さは驚くべきもの が、見童の健康となるに とない。また食けずして死に至るこ とはいと易いと部にれてみる。 である、みに見童期に於て一 しかしからした書の年期の を関することも決して夢くた である、みに見童期に於て一 しかしからした書ののである。 がますることも決して夢くた のでるの、である、発生なるに である、発生なるに である、発生なるに である、発生なるに である、表に見童期に於て一 しかしからした書ののである。 が書することも決して夢くた のでるの完全腫

ふぐちりを始めまし

が、これは行政。家庭にとつても

人のために不幸なことは勿論と不成功の失望とが残る、本

の健康に

決して政府の力にのみ依存

教育上の體育

題は國師又はその方面の關係

雪原に立つ新

女性

速成スキ

手引

グ・クリームなどをつけてよ とした植物性のローションな とした植物性のローションな とした植物性のローションな としたがないへばどろつ に としたがないへばどろつ に としたがないへばどろっ に としたがない。

なで上げて自粉を吸

即ち氣力と陸力と

一切の事項を國民

のつかぬやうな宣情にある、とにあるのか、入學試験にことにあるのか、入學試験に入生の目的が立脈な人間たることにあるのか見分

戶外運動

の活力を體外に出すものでま るが、榮鏊は逆に體外から體 大に活力をとり入れることで ある、而して運動と榮養とが、 保持の原則の一つである、然 った日本人は榮養を衝取する こと、空腹を流足させることが、健康 なに日本人は榮養を衝取する こと、空腹を流たし、併せて てある、従つて食品を買ふ場 たこれを最上と心得、これに對 とれた最かないまければ それを最上と心得、これに對

勢作と休養 との取合

ならびに青年期に殊に大切で 繋者に却つて健康を見るので 乗者に却つて健康を見るので

に一個(大人は大一個、子供 たさんであるから、蜜神を日 を含んであるから、蜜神を日 を含んであるから、蜜神を日 高價を支渉な都會人よりも、ならない、さればこそ食物になられい、さればこそ食物になければ

で先分にピイクミンロを補給

では殊に注意すべる。 がけであつてそ

商品券 の賣買も致します精々御利用下さい 彩票代賣 滿洲國福民 新京說町三丁目(與銀構) 高 泰 價 買 商官學 特製品カステーラ カネタ製麺類工場

文部省體育課長 岩原

な準備事項であることを切言 年の體位向上が極めて重要な いところのものである、而し とけ謂ふまでもない、而して 私はその専門的立場から、特 なはその専門的立場から、特 ひたいと思ふのであるこ 年は、やがて賃 語勢を願みるに でない賃情に 分的の現れと謂ふべきであるい、蓋し全身の體質悪化の部の身體異常と見る事は出來ない。蓋し全身の體質悪化の部

科學兵器の登達は、それと同時にこれを使用すべき精神力 と體力とをます (要求する といふことである、また今後 必要なる生涯力の擴大充實の 如きは、態よ體力の强大主を 求するのである、 の趨勢が についての関心の薄い國民はどその最も貴重なる財資たる健康

第二課

ア、擔ぎ方、後の處置

チャニ

军五廿阴雪

必要で

なほぞ

途中で小粧直しなど不

黑田米子さん談

キーで制動し、い

更角廻り方や

術です、

ムボーゲン、全 ・止め方を置えて ・上の方を置えて

どこれは片方の

ススチテ

カクリステムク コマリステムク

ではつくり繰返すんです。ステムクリスチャニアといつてもこれを素早くボディスウキング、つまり多酸の振りこみを使つてやるだけなんです、けれどれなかくかうなつです。日本一重の斜面を設上げて立へ右へ、自布一重の斜面を設上げて立へ右へ、自布一重の斜面を設上げて立へ右へ、自布一重の斜面を設上げて立へ右のです。はまき前の愉快さ、胸透く思ひは

・、 湖動してる方のスキーの。 がら、山で大いに役に立 がら、山で大いに役に立

国民が全幅の協力を與ふべき 府富局のみの職心事とせず全 れは異なる肉體的の體力に非要求するのである。しかもそ がその健康につ

をの行ふ處は関情によつて同 ででないが、先づ運動場の完 ででないが、先づ運動場の完 でで行ふこと 本 関民全般の自 で行ふこと 本 関民全般の自 で行ふこと 本 関民全般の自 高る、英、獨、佛、露、伊等 関に於ても承染國策となつて 関に於ても承染國策となつて

いて十分なる

外線を避け

のお化粧は紫一濃甘にいたします

」」、クリンデン

雪焼け防ぎの目的で

八切なお化粧

ます、その

てかの

(畫)

〇〇經濟

一、五九時

ち早くしつかり半銅動を覺え ものです、山へ行きたかつた ものです、山へ行きたかつた

H は、元〇ラデナをで、元近) ストレー・ス・大道が知りた。 ふの番組 一 新京放公司 大田(木曜号)

九、四五建國禮操 一〇、〇〇《庭講座(哈爾濱) 一〇、三五料理戲立(哈爾濱) 一〇、三五料理戲立(本大) 「大理、新京) 「大理、新京) 六、〇〇 大 まっこの中

四 (大連、演京)

三、〇〇経濟市況
三、四〇経濟市況(東京)
三、四〇経濟市況(東京)
ニュース(東京) 弋

三 共和洋合裝

宮岡 野村

・二〇ニュース再放送・三〇北浦の時間(哈爾濱)

電 (3) 六三



告知事項、希組兼告



小川〇

ţ 六



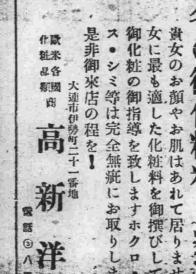




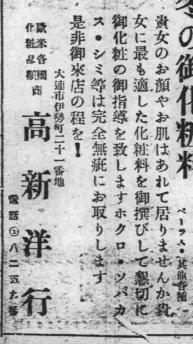


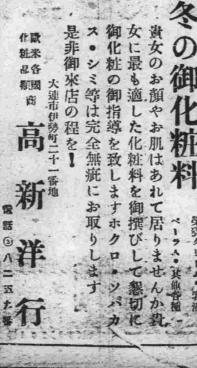


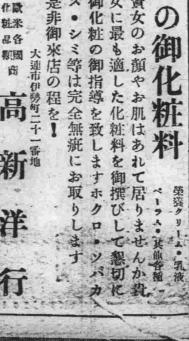


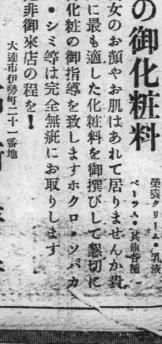














きますが、決してごじくす

リームをよく塗





これは夢だといふ跡り書無しに、さまんへの夢の内容が、しよせん相當の年輩に達したこの作者のでもあが、しよせん相當の年輩に達したこの作者の段離が置って支章の的確さだけは買べるが、作品全體としては一つ有有り難くないのであるだけのもので、誰がが言つてもた。まだしも隨筆といふ形式の中でこの人の借金哲學をでは思案の外みたいな作品を時折り書くのは怕れる次第つでは思案の外みたいな作品を時折り書くのは怕れる次第つでは思案の外みたいな作品を時折り書くのは何れる次第つでは思案の外みたいな作品を時折り書くのは何れる次第つでは思案の外みたいな作品を時折り書くのは何れる次第つでは思案の外みたいな作品を時折り書くのは何れる次第つである。

は遠く山地を迂廻してジリジリと迫る快速部盤の進歩は夢 に 4 見なかつたのでなる、緩 に 4 見なかつたのでなる、緩

造する、午後三番最後の砲撃 域えつ、血達磨となって耐化 域えつ、血達磨となって耐化 がの要楽陣地にデリデリン肉

44

4

初老文人の夢

黒と朱をもて装へる茶房の

8

(『政治 一月號)

本 本 表 の は は ま ま と を 知 出 ま ことを 知 れ ま ことを 知 れ ま ことを 知 れ ま ことを い ま ことを 知 れ ま ことを い ま ことを ま ことを い ま ことを い ま ことを い ま ことを ま ことを い ま ことを い ま ことを ことを い ま ことを い ま ことを ことを い ま ことを い ま ことを い ま ことを ことを い ま

達はや、それでなく なせなく

第一次の使節引田虫麿が歸 明してから二、三年經つと天 中五年にこれけ誰もが知つて ある武内宿禰の孫に営る年群 たが、歸り途」支別の南海で たが、歸り途」支別の南海で

おおうな を表する。 に長安の にもした。

優野骨院

長大募集 記②二六〇五 記。 記述婦會 *五六六九番 看護婦會 かちどき館内

際高・代書

日科業祭

賃月金賣貨賦融買

二世の一門指入 第4次7次3章 店話電本茶

古光堂療院

本 ス 國光

海三四一五(2) 電

東二兵通天船可天東二兵通天船可天 明るい理髪 、軒

第二條通五〇 (大和新館向側)

書

京

つき

屋京熟店

是非!

机町二丁四七(銀座町道)

たんか

/ 博麦度

出前迅速

六五0九

頒五六

E F

対に一片専門

すましまで用信すせ更要儀名

番三七七五 電 二ノー町松老:街ヤイダ京新

社會式株融金和昭

計劃

新京東-文章 電話③ナニ王四番

清水堂鍼灸院

新京京

◇中 風 △脚 膜 ※ ◇神 前 △脚 膜 ※ 像お灸 小サエ 膜 領便スス炎

ばん









■質入に

七十

台

三四年式

クク型ン型

台台台台

三四年式

門司、神戸(大阪子) 10 (全年) 10 (大阪子) 10 (全年) 1

會席析話出

出前專門



ル氣な僕等の

番なかよし

出来上りの快速なること全番







他様なさらにな る三面線の内 たりたようにな

をり表示しなければならない。 さり表示しなければならない。 きり表示しなければならない。

ズと優れば

大阪も慌しい年の暮だった! 震田し嚢田しの雑沓にもまれた。 東京で感じる人混み 111 紗

なのに残してゆくあなたの身 間が健かでない事が矢張り頻 つた顔の無いのは領薬な管 にかゝるのか自分にもない面 にかゝるのか自分にもない面 の身 屋たどに窓た事がないので妙 を管 館に宿つた。減多に一人で宿 を一点に宿った。減多に一人で宿 を一点に宿った。減多に一人で宿 で中に行って此の前あなたと 方 で中に行って此の前あなたと 方 でからで、減多に一人で宿 でする。 相手と調子高く気なる。周りはみんな

趣えて進軍するチャハル作職 軍の最精鋭○○快速部隊の勇 北欧正本を表す、山西の山嶽地帶 に砂廉を捲き起し堂々朔州を 後に四進叙遠の堅陣に向つて 後に四進叙遠の堅神に向つて が撃した長谷川、中島、吉富 職級の雨城を占領すべく連備 を整へたのである、陽化、緩 を整へたのである、陽化、緩 を動えて陣營に聞えて來っ、 一方京緩線に沿ひ緩遠派に進 撃中の蒙古軍は十三日夕刻緩 撃中の蒙古軍は十三日夕刻緩 な、た。 を越えて神營に聞えて來っ、 を越えて神營に聞えて來っ、 を越えて神營に聞えて來っ、



△ 不油にまるか △ 大阪場所の 本の要を説いたパンフレット の要を説いたパンフレット の要を説いたパンフレット の要を説いたパンフレット の要を説いたパンフレット の要を説いたパンフレット の要を説いたパンフレット の要を説が改正」「海原海の であるが東京市論語(一月十五子の であるが東京市論語(一月十五子の であるが東京市論語(一月十五子の であるが東京市論語(一月十五子の であるが東京市論語(一月十五子の であるが東京市論語(一月十五子の であるが東京市論語(一月十五子の であるが東京市論語(一月十五子の であるが東京市論語(一月十五子の では、「本語の を収さ、「本語の では、「本語の を収さ、「本語の では、「本語の 中国中口(10)

ヤ菓子 電話川時配達 三秦公司

野工務所への御用は (三) 五四五四

トラ の百貨店 ク

七届屋

が立 が立さざる品 が立さざる品

調の四七七〇

〇四一 丸八海店 一 丸八海店 新京古谷町一工口 お茶と みどり茶園

者芸に本會へ 白疆會

電話買ひ

古物等

女給募 たしたし

外 慢 機 性 条

のたこ五回南八四通和大

豊産物麻袋の準備有 豊産の準備有

集神・ダン銀座 東国ー七五〇二八公徒後計算 大和運輸公司

治=

印刷及帳簿 トラックに依る

月日公で 海流の

簡易 隨

帳簿專門

省堂製本所

案內

び致します。遠近を間は了彼迷に御何 炎鍼

大和通四六ノニ 2 心堂 1

施 高 高

陳社日朝 五二通条二東

白金·金·銀高價買入 橫濱屋質店 東二條通二十五番 電話3個七七四番





(中) 第一次 (中) 告響のへ母 異状はありませんか

!なすか引を邪風 !け防を氣病 な切大に見幼乳公

日京新

では、宇津教師先によ子機の時間です。教師です。教師です。教師をは抗力にありとすれば、宇津教師先にそまことに打ってつけのお楽と味す事が出来などの出る機な時にお乗いて、是非一般お母の時間と対して、是非一般ないと思います。文字を大きよくがいて、是非一般ので、と大きよくがいて、と思います。文字をと大きよくがいて、お紹子には、学れのは、ならずに早く順ります。本語では、「本語ないになる」とならずに早く順ります。本語ないになる。名のは、「本語ないになる」とならずに早く順ります。本語ないになる。名のは、「本語ないに

離乳後のお見さんに

ケツキヒ



※だけに安全に信頼して貼びら います。 います。 には教命丸は和薬薬を主刺と せる小兒良薬で小兒肝、虫家 チェ熱、催化不良、熱便、百 日数、胎業等に度効があり、虚 別児の強化化に優紀だ効果が あります。計銭より治園まで 各地薬店にあり。越代運店東 京大阪株式會耐玉置商店(振 善東京七二番)



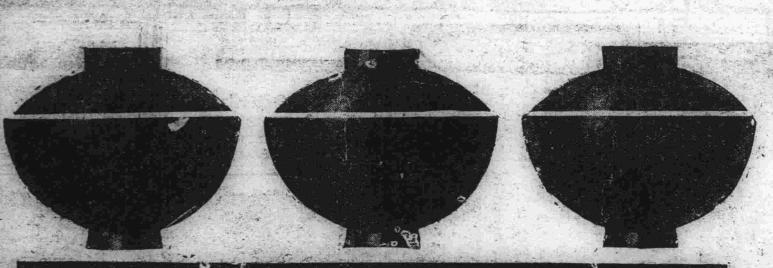
神經質な子供も 助うすれば丈夫に

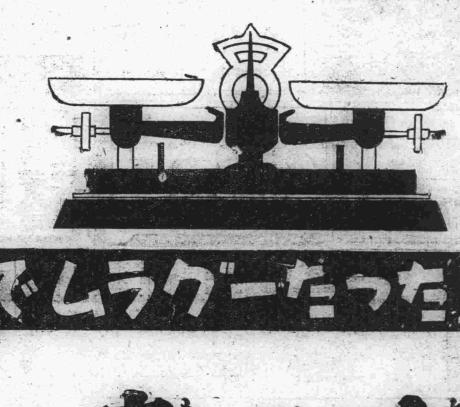






★味の素を使ふに ★天ぶら、精進料 ★お試しになれば **★刺身、漬粉、浸** ★味噌汁、吸物等 ★總べて一人前一 前三匙位の割合 濟です。 が直ぐ解ります の一瓦が適量 分の一乃至二分 には、一人前約 他の調味料より 理の衣には一人 ズッと經濟な事 一二杯で結構 油には添附の匙 〇・三瓦位 に使つては不經 らと言つて除計 す。幾ら旨いか は適量がありま し物等の附け響







社会式株 盤木素の味

戦傷病者遺族に

○ 筈で當日は 並員 単秘滅の事變映 満 変的記鉄映 満 皴槌

滿洲國でも特典

國旗に敬禮の後、皇軍に一貫を開催開宮の際に次ぎ一

長申榮爾氏以下側員八十名参り協和青年團會議室に於て團

美二坤君(一八) 林京玉君(二四) 林京玉君(二四) 新京日日新聞 美公喜君(一七) 新京日日新聞 李泰坤君(二〇)

■激譜は盆《高潮を示す一か現れたりして非常時局下

米米の帝國軍人希望者の中に は興らずも本社から二名の名 が連なつて居り、年齢は十八 すから二十五才迄の皆眞面目 た青年ばかりだ

内地人と同様に戦決に立つ で日本帝國の経恩ふ存分簡 とです、吾々半島八青年は 今日かくたる事をどんなに 得つてあたことでせらか 信館質は向つて右から志願を 中出た金(子)、林、金(貞) が、美(一)の六君) は、一)の六君)

在京半島 志願兵制度實施祝賀大會に 壯・時局下の感激風景

本社からも一名

林京玉、姜二坤の兩君

| 中の一体| | 中が一体| | 中が

れたがら

山梨業務部長 満映常務理事 耐となる 耐となる 耐となる 耐となる 一月一日質施以来約三ヶ月を 超て順調に進行してゐるがこ 東京直 愈よ今月末試驗通話 通 電話

明の開通は一日を争ふ 明の開通は一日を争ふ 明の開通は一日を争ふ 面でその日を待ち忙がてゐる 便が一掃されること」て各方 プランタン小火

十九日午後七時卅五分ダイヤ 有カフェーブラタンこと湊山 かけさん方から出火の報に記 至らんとしたが同署の活動に より内部装飾の一部を続失し に同五十分編火した、原因は 高度撮影のためマグネシュウ

動することになった、後任者 は未決定だが暫定的に山内企 劃課長が業務部長代理を兼務

耐として参興的立場で今後活 が来の強慢を割すべき各種重 要案件の講査審議に富るため 要案件の講査審議に富るため 要案件の講査審議に富るため を忙な現職を去り、常務理事

陽 山渡山











暖 ほ



李家坤君(二〇) 自動車運轉手两七馬路居 住 金貞墺君(二三) 金貞墺君(二三) 金子石君(二五) 瀬洲政消賀組合 瀬州政消賀組合 瀬州政消賀組合 瀬州政消賀組合 瀬州政治質組合 瀬州政治質組合

河州城では本人電腦にして今 一回の事變に從軍し傷病を受け 疾病に罹りし者並に之が緩死 に対しの處置に就いては種々 別致他の處置に就いては種々 が、この度法を 設けて第一線に於ける勝士を して後頭の憂かく報慮の破を

十五日開催

救恤處置近く制定 ■講演と映書會を催し南支海 は、保主催で二十五日午後七時から西廣場演銭倶樂部に於て時 ら西廣場演銭倶樂部に於て時

年等のため延期されてゐた。 首都警察寒稽古

富小土本流調番練青天金和羽巴大田磐前天男主 上島州刀被ノ神ノ薬 歌黒 羽 田邱女 秋川山岩嶺里山里山狼湊島山潟渤湊石山山川錦

般の参加を希望すると 務引繼さ 行政権を

東東

食道樂

3

相撲七日目 小陸續加清級足富福肥照小小負 級奧 古美前羽/ 州 戶藤 川錦機川川山山山原山國岩川 場所星取表

中井で開催

日本精神基調の完成教育

近く初等學校長會議

認不技の精神を養ふ方針の下 単校組合では此の意を體して 學校組合では此の意を體して 単校組合では此の意を體して

として進めるべく近く教務部 でと共にやいもすれば上級學 い小楓教育を夫目體完成教育 い小楓教育を夫目體完成教育

を明、西廣場、白海、八島、一 を明、西廣場、白海、八島、一 を明、西廣場、白海、八島、一 を対長を招集第一回會議を行 知り教育革新の根本となるべき かあつて出席者よりの質疑に答っ あつて出席者よりの質疑に答っ あって出席者よりの質疑に答っ なこと、なつた、又此の會

行ぶこと」なったが、一校に すっき約半日を以て全般的に群 もの小學教育の完成を期してる る小學教育の完成を期してる るが、此の結果現れた國都教 に生れる非人教育の方針を明 に生れる非人教育の方針を明

家 貸

は不職一勝となるわけである ら休場、從つて七日目の金湊 ら休場、從つて七日目の金湊

庭腹く容氣清淨、交通至便二十二圓五十銭均一六、三、二疊二十八月

電話(3)二七八四

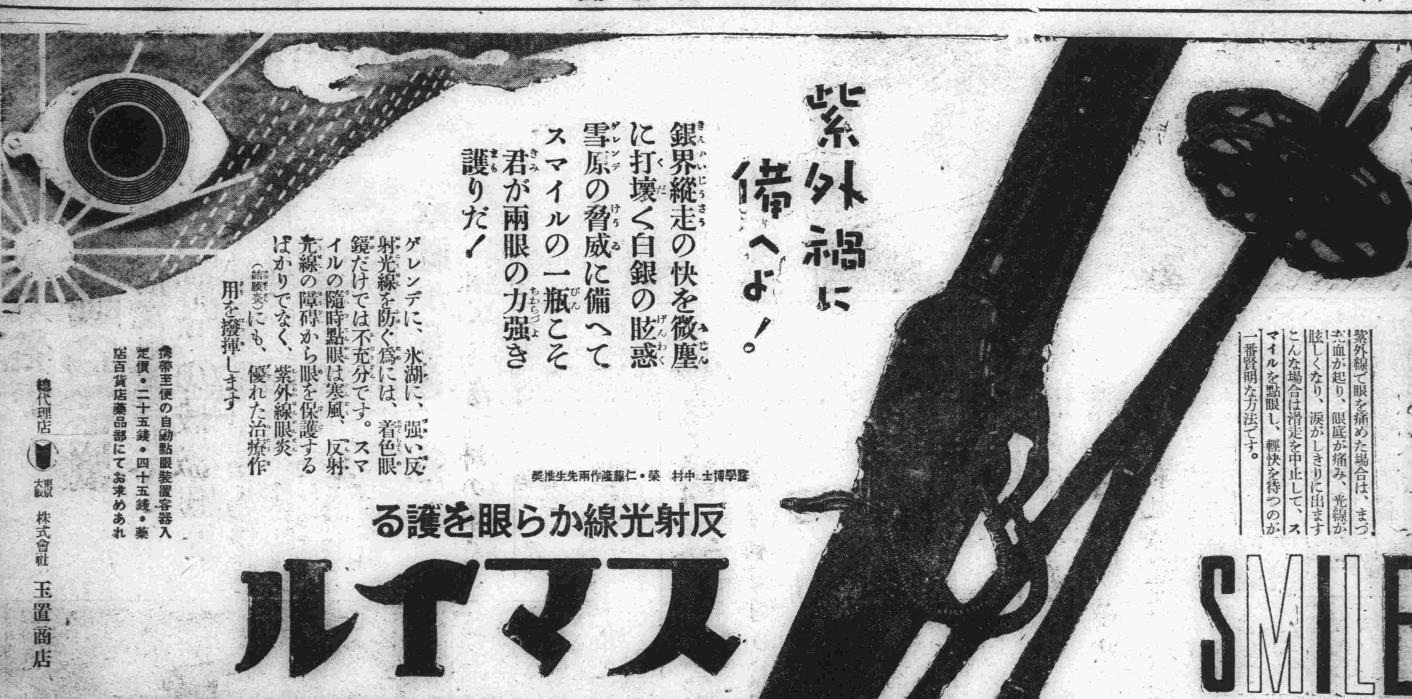
童書初

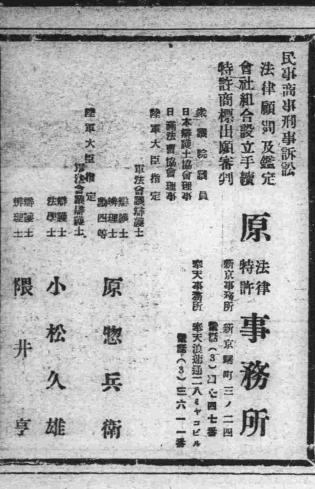
め

家間場 御希望の方は 貨取所

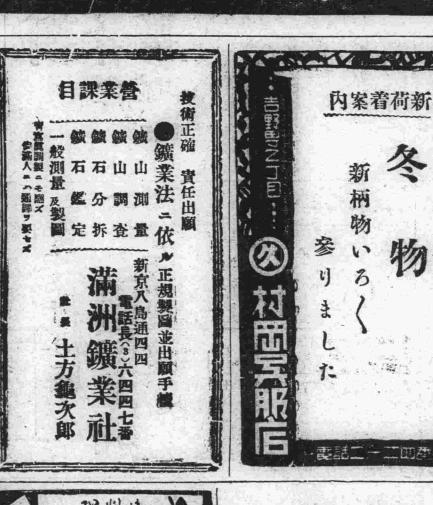
酒の様 洋酒の店 F 技 5 12 W (宮內府前) 0



















U